

(7) 設備投資

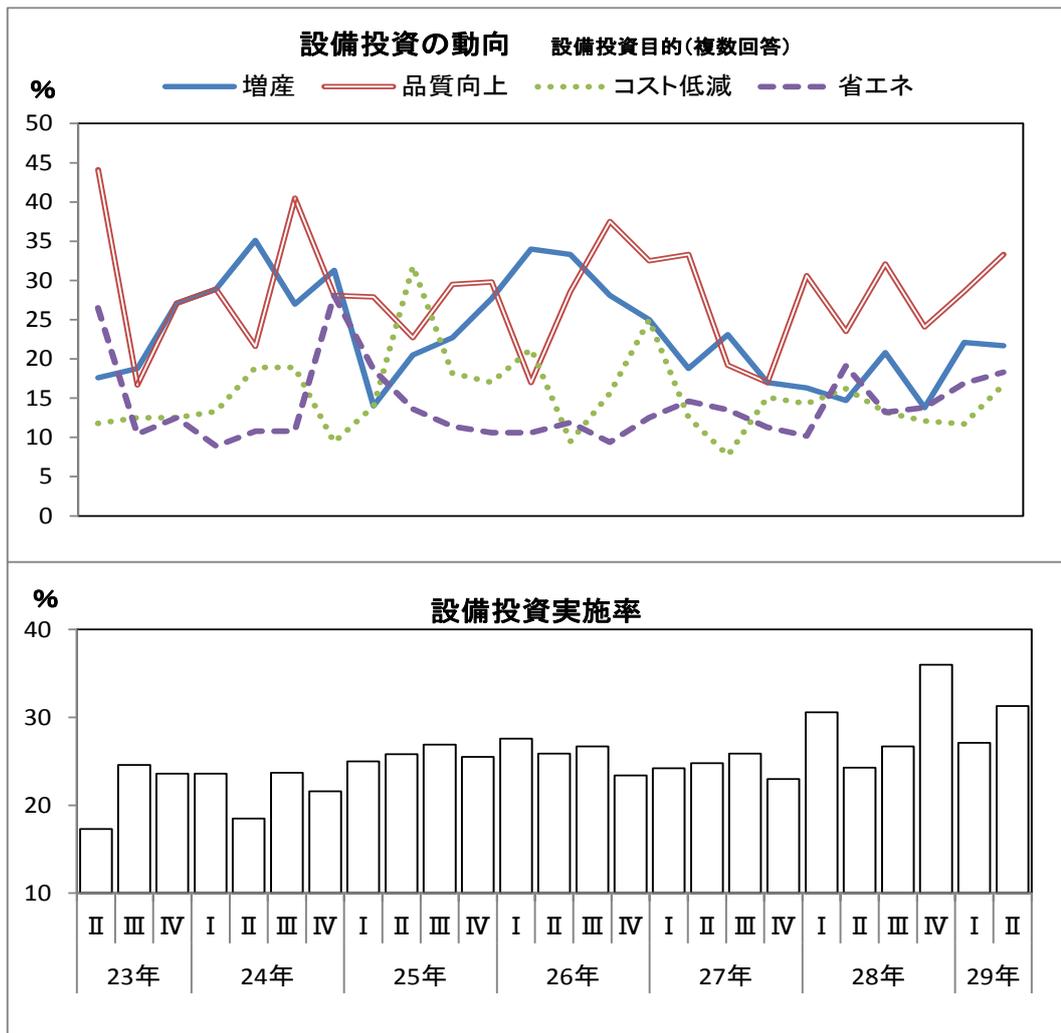
設備投資実施率については27.1%となり、前回調査より8.9ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは、「プラスチック製品」・「機械・機器」・「食料品」、目的別では、「品質向上」が33.3%でトップ、次いで「増産」が21.7%、「省エネ」が18.3%、「コスト低減」が16.7%の順となっている。

来期の設備投資計画率（29年4-6月期の設備投資計画）については31.3%となり、前回調査の32.2%から0.9ポイント下降している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が9.8%、「下降」したとする企業が23.2%で、DIについては▲13.4となり、前回調査の▲5.8から7.6ポイント下降している。

【図表 14、15】

【図表 14】



【図表 15】

	設備投資			設備操業率 前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食料品	34.3	65.7	▲ 31.4	3.1	34.4	▲ 31.3
繊維	15.4	84.6	▲ 69.2	11.1	50.0	▲ 38.9
木材	9.1	90.9	▲ 81.8	0.0	18.2	▲ 18.2
紙・加工品	16.7	83.3	▲ 66.6	0.0	33.3	▲ 33.3
窯業・土石	26.7	73.3	▲ 46.6	7.1	14.3	▲ 7.2
金属	16.7	83.3	▲ 66.6	11.1	18.5	▲ 7.4
機械・機器	39.2	60.8	▲ 21.6	19.1	14.9	4.2
プラスチック	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
合計	27.1	72.9	▲ 45.8	9.8	23.2	▲ 13.4